



あなたのカルマ鑑定書  
～運命の人と出会えないのは？  
人生の旅とソウルメイトの深い関わり～

Ms C□□□、K□□□

Cさん、こんにちは。

この度はご依頼いただきましてありがとうございます。

そして鑑定書のお届けが遅くなり大変申し訳ございませんでした。

少しご自身の人生の中に変化を取り入れていくことで

パートナーとの出会いに出会いが整ってきそうです。

今はバランスがちょっと崩れているようですが、

Cさん自身できちんと意識していけばよい方向に整います。

この点につきましては後書きのほうで少しふれていきたいなと思います。

今パートナーを欲しいと願っている思いは、とても素晴らしく、

大切にしていきたいなと思います。

自分の経験から、色々な方々とのセッションの経験から

パートナーシップはセルフシップ(自分との信頼)とイコールです。

いつからでもちゃんと愛する人と歩いていけるという希望を

感じて頂けたらいいなと思っています。

さていろいろな情報を過去世という側面からと

ホロスコープという側面からリーディングさせていただきますね。

まず初めに前世からみてみますが、ここで前世について少しお話をさせてください。

人間はたくさんの前世をもっており、平均で100前後と言われています。

正確な数字がわからないのは、私の場合、

今の現時点で関係のある前世しか見られないからです。

ほかの情報はシャットアウトされます。

ですので、ここで私が述べる前世というのは、

今の人生の一つ前の人生ではなく、

今抱えていらっしゃる問題に対しての解答になる前世になります。

もう一つ、

実はこの世には、〇〇(有名人)の過去世だった人がたくさんいます。

なぜかというと、魂は肉体を離れると、

一つ一つ分離している状態は長く続かず、

すべての根源に一度溶けこむからです。

それご了承頂きたいこととして、

詳細な地名や年数が出るときと、出ないときがあるということです。

では早速、魂の系譜を紐解いてみましょう。

時代と場所は700年から800年ごろの今のスイス周辺の辺りです。

山に囲まれた小さな集落で女性として生きています。

年齢は7～8歳なのですが、見た目は10代後半に見え

神秘的で大人びた感じです。

小さな頃から不思議な透明感のある女の子で、

周りの子どもとは違う雰囲気を出していました。

本人も他の子どもが楽しく遊んでいる鬼ごっこのようなことや

集団での遊びなどにはあまり興味がなく単独行動が多かったようです。

女の子は静かにぼ～～～としているのが好きでした。

空をみながら雲の動きをみて物語を空想したり、花を育てたり、、、

女の子本人は気づいていないのですが、

生まれる以前の記憶がなんとなくあったり、

動物の声などを無意識でキャッチする能力もあったようです。

サイキックな能力があるので、人とは感性が違うのも自然なことです。

近所の子どもたちの中には、女の子は変わっているといって

一緒に遊んだりするのを拒否したりする子も多かったのですが、

彼女の独特の雰囲気は魅力的で、女の子と仲良くしたいと思う子もいました。

女の子自身は見かけのおっとりした感じとは違い、我が道を行くタイプで、

興味がないものはないと他の人とは距離をとっていたのです。

ある日、一人の女の子(Aちゃん)と一緒に遊ばないかと

女の子に話しかけてきました。

とってもびっくりしたのですが、女の子はなんとなく嬉しさを感じ

Aちゃんと遊びました。

いつも一人遊びをしていた女の子は、

誰かと遊ぶという行為がとても新鮮に感じられとても楽しかったようです。

そして毎日遊ぶようになりました。

それを見ていた他の子どもたちもかわり、数人で遊ぶようになったのです。

今までとは違う世界にいるようで楽しい日々を過ごしていました。

その頃は、空を見上げて空想をすることも、花を育てることもしなくなりました。

そして育てていた花が枯れてしまったのです。

女の子はとても後ろ髪魅かれる感覚(後悔や罪悪感)を感じながら

集団から離れることは怖くて出来ずにいました。

けれどもそのころから、最初に声をかけてきたAちゃんが女の子を  
「やっぱりあの子は変わっているし、変！」と言うようになってきました。  
もともと感性は他の子どもたちと大きく違っていたので、  
その違いがなくなるわけではなく、、、  
Aちゃんも最初は新鮮で楽しかった女の子の感性に  
なんだか魅力を感じなくなっていたのです。

結局女の子はまた一人で行動することが多くなりました。  
でも最初の頃に一人で楽しんでいた気持ちには戻れません。  
なぜなら、今の状態は自分から望んだわけではなく、  
人から拒否されてのことだからです。

経験してしまった集団行動の前の状態に戻ることはできません。  
女の子自身、空を見上げて空想をしてみても、  
違和感や空しさが襲ってきました。  
いつの間にか動物の声をキャッチする能力もなくなり、  
無意識で楽しんでいたものも失われていったのです。  
それが女の子が一人でいた頃と同じような行動をしても

違和感や空しさが襲ってくる理由の一つでもありました。

最初、女の子はみんなに好かれるにはどうしたらよいかを考えていました。

お菓子を作って気を引いたりしましたが、

一時的に集まってくるだけで、長くは続きません。

女の子はひどく傷つき落ち込んでいましたが、

この状況を変えることは出来ずにいました。

そしてずっとモヤモヤしていたのです。

数年の後、女の子は仕事をする年齢になり、

お金持ちの家のメイドの仕事をはじめました。

最初はなかなか慣れなくて辛い時期もありましたが、

庭仕事をしているときは心が落ち着き夢中で作業をしていました。

女の子が手掛けた花壇はなぜか花がとても綺麗に咲き、

家の主から褒めてもらえるようになりました。

それはとても嬉しい出来事で、昔のことを思い出すようになります。

仕事が認められ始めたころ、他の同僚との人間関係も良好になっていきました。

それは仕事が認められたからではなく、

女の子の雰囲気人が惹きつけるような感じになったからのようです。

それに気がついた女の子は、自分が得意とすること、

庭仕事、犬のお世話などをしながら、

友達から疎外された辛い過去について考えていました。

あの時、Aちゃん達に嫌われてしまったのは、自分を気に入られようと思って、

自分が大切にしてきたことをないがしろにしたのが原因だったのかもしれない。

それに本当は遊んだりすることに気が進まない時もあったのに、

随分無理をしていたことを気づかないふりをしていたことにも気がつきました。

大好きな花を枯らして、それでも気づかないふりをしてきて

自分を見失っていたことに気がついたのです。

これが一つ目の過去世です。

二つ目もみてみましょう。

時代は1800年代ごろだと思います。



20代の青年がCさんです。

お酒をのみながらにぎやかに騒いでいます。

お金持ちのようで羽振りがよく、たくさんの方が青年に群がっています。

綺麗な女性を横に置き、上機嫌でお酒を飲んでいます。

彼の家は工場などを経営しているお金持ちの家のようにです。

なので彼はもともと裕福な家で育ってきました。

青年も父親の経営の後を継ぐようです。

青年には妻がいましたが、あまり上手くいっているとはいえません。

青年の会社に優位に働くような結婚だったからというのが一つの理由です。

綺麗な奥さんで周りからは羨ましがられていますが、

愛していない女性との生活をしているという虚しいような気持ちがあるようです。

なので愛人のような女性が数人いました。

ただそんな状況の中、子どもが産まれました。

血のつながった自分の子どもは無条件でかわいいなど感じています。

子どもを幸せにしたいと感じています。

その頃、父親の会社の経営が苦しい時期にあり、

家族全員がそれぞれ必死に頑張っていました。

あれほど彼らに群がっていた多くの人も潮が引くようにすうーと離れていきました。

愛人の中には、他の男性に乗り換える人もいました。

そういう経験を通して、虚構の人間関係を築いていたことに気がつきました。

自分という人間は好かれているから、

たくさんの友人たちがいると思っていたのが実は違っていた。

自分の財産や地位などに魅かれていただけなんだと。

それは彼にはとてもショックを受ける出来事だったのですが、

今は会社をどうにか立て直さないとはいけません。

倒産すれば家族はバラバラです。

自分を信頼して笑ってくれる子ども、

愛人は去っていく人もいたのに、愛していないと思っていた妻が

去らずに静かに支えてくれている、

自分の中でパズルのピースが一つ一つ組み合わさるように

本当に大事なものが分かってきたように感じました。

なので懸命に会社を立て直すことに力をいれます。

長時間ずっと働き、色々な人に頭を下げ、倒産は免れました。

けれども事業の規模は今までの5分の1にまで小さくなりました。

当然いままでのように贅沢はできません。

むしろ生活は苦しいぐらいです。

何年も苦しい日々を過ごすことになりましたが、

子どもたちの成長は彼の心の支えでもあります。

ただ家族に苦勞をかけているのはとても心苦しいようです。

子どもたちも父親やお祖父ちゃんの事情を幼いながらも察しているようで

いろいろなことを我慢していることは、彼には分かるようです。

それが彼には余計に心締め付けられる出来事のようにです。

過去世のリーディングはここまでです。

つぎに占星術の面からCさんを紐解いて見ましょう。

Cさんのホロスコープにはグランドラインという

大幸運とよばれるアスペクトがあります。

3室の月、7室の金星、11室の冥王星です。

ただたくさんの方を鑑定させていただいて思ったことは、

このグランドラインの影響力が大きすぎて

遂に辛い試練になるような場合もあります。

Cさんの場合は、パートナーシップの部屋である7室とも関係があるので、

ソウルメイトとの関係においてもこのグランドラインは

とても重要なポイントを示すようです。

過去世でも垣間見れるのですが、

Cさんは人の気持ちにとっても敏感だということです。

それは第3室の月が物語っています。

けれどもここで複雑なのが、11室の冥王星です。

11室の冥王星は遂に大勢の中にいることを

運命づけられている部分があります。

人の気持ちに敏感だからこそ、

たくさんの人たちの中で発揮していく能力があるようです。

ただ人の気持ちに敏感だと、人間関係は嫌になることが多いです。

それは必要以上に人の気持ちを察してしまうからです。

でも多くの人の中で、Cさんの資質は磨かれていきますので、

人との交流を避けることはできないようです。

そしてそこで見つけた楽しさや喜びが7室の金星を輝かせます。

この7室の金星が輝くことが運命の人とに出会いの扉と結びついています。

人との交流を避けることができないもう一つの大きな理由として

太陽が8室にあることがあげられます。

この太陽は他者との心の深いつながりを創っていくという役割があるからです。

ここに太陽がある人は強い孤独や疎外感を経験される人が多いです。

なぜなら、強い孤独や疎外感を経験するからこそ

人と心の交流をしていくありがたみがわかり、

他者と心のつながりをより深くつくっていくことができるからです。

なので今のCさんの状況は、そのプロセスの途中とも言えますね。

人と繋がりたいけど怖いという反応はごくごく自然なことですから、

そういう気持ちがあることを認めていってください。

そして最後に10室の土星についてですが、

10室というのは、社会でどういう立ち位置にいたいかという

Cさんの魂の願望を示します。

コツコツと努力を重ねて、大きなキャリアを形成していきたいと考えているようです。

もし、Cさんがそれとは違う生き方をしているのなら、

自分が本当にどうしたいかを感じ軌道修正していくときかなと思います。

11室に戻りますが、この11室の多くの人というのは

組織や社会のつながりも示しますので、

社会(会社)との関わりはCさんのライフプランでは外せないもののようです。

Cさんは今以上に社会で大きな成功を収める器を持っています。

その成功を収めるには、とても敏感な心をギフトとして、

傷つくことを怖がらないで、人との交流を持つことを

積極的に進めていくことのおうです。

以上がリーディング内容になります。

.....ま と め .....

■ あなたの過去世は

一つは、700年～800年代、スイスの小さな集落にいた女の子でした。

一つは、1800年ごろ会社を家族経営していた男性でした。

■ あなたの選ぶべき生き方は？

一つ目の過去世でみえてくることは、人の気持ちにとっても敏感だということです。

現在、お母さんや弟さんに対して抱いている気持ちは、

Cさんが人の思惑にとっても敏感だからこそ、感じてしまうようです。

これはきちんとその敏感さを活かせるようになるまでは、

人の気持ちに振り回されがちになるような痛みの方が大きいのです。

お母さんやお父さんとの間に何か深刻なカルマはみえません。

むしろご両親は強く感じ取ってしまうCさんの感受性を鍛えるための

協力者のような魂のご縁です。

もう一つ過去世でいいたいことは、今生、

人との距離の取り方はバランスよくとっていくことが課題のようです。

一人でいるか、他人といるか、そして他人といるときは、

自分の価値観を見失ってしまうといったように、少し極端だったようですので、

自分の感性を大切にしつつ、人との心地よい距離を創ることが課題のようです。

二つ目の過去世と関係するのが、お母さんの氣苦勞が不憫という思いです。

子どもたちも奥さんもすごく苦勞をさせてしまい、特に子どもたちは

幼い心で精一杯、父親である自分を氣遣わせてしまった負い目のようなものを

お母さんに必要以上に投影しているようです。

お母さんのようには出来ないと思うと、結婚に対して消極的になるようですが、

好きな人と一緒になっても、十分なことをしてあげられないかもしれない、

という怖れが、お母さんに感じる負い目を隠れ蓑のようにして、

感じないようにしているというか、そんな感じのようです。

男性は一生懸命会社を立て直そうと努力はしたし、努力できる人です。

子どもたちもお父さんが好きだから、協力したことで、子どもや奥さんは

自分たちが犠牲になっているとは思っていませんので、その怖れは

もう手放していいのかなと思います。

奥さんを裏切って愛人を作った自分から、

人と深い関係を築くのはおこがましいと思っている部分、

お金がなくなって人が去っていったことで、感じた虚しさ、これが相まって

なかなか人との絆を深めることに躊躇しているというのがあるのかなと思います。

それをクリアにするというのが今生の課題の一つでもあるようです。

2017年5月18日



こんにちは、中村まみです。

リーディングはいかがでしたか？恋愛は私たちの人生に大きく影響しています。だからこそ人生のいろいろなところと繋がっています。今痛みを感じているなら、それは過去世のものではなく、『今』なのです。そしてその痛みは、あなたの運命の人と必ずどこかでつながっています。

私をご提供しているセラピーは過去世も含めた癒しを起します。

「今」のご自身からみつめて、痛みを解放していけば過去世も含めて癒されます。それが「今」のとてもすごい力です。

なので、過去世はあくまでも今につながるツールの一つとして、考えて頂ければと思います。

痛みの解放に有効なこと、愛する人に出会う方法、下記のブログにたくさん書いていますのでご参考になると幸いです。

『アダルトチルドレンから卒業し素敵な恋愛を運命の人とするセラピー』

<http://soulmatelesson.com/>

『復縁セラピーで元彼にもっと愛される潜在意識の法則』

<http://fukuentherapy.com/>

『非二元(ノンデュアリティ)でこの幻想の世界を遊ぼう』

<http://acimlessons.blog.fc2.com/>